

デジタルミュージックプレーヤー

使用上のご注意／主な仕様

NW-S310ヘルプガイド

検索

インターネット上で使いかた(ヘルプガイド)などのサポート情報が閲覧できます。閲覧は無料ですが通信料は通信契約に依存します。
http://sony.jp/support/r/walkman/nws310/

NW-S313/S315/S313K/S315K

マニュアルについて

- 取扱説明書：ウォークマン®の基本操作について記載しています。
- 使用上のご注意／主な仕様(本書)：ご使用の前にお読みください。主な仕様やパソコンの動作環境、ご注意などを記載しています。
- ウォークマンに音楽を転送／録音する：パソコンを使って音楽を転送する方法と、オーディオ機器から直接音楽を録音する方法を記載しています。
- アクティブスピーカー 取扱説明書(NW-S313K/S315Kのみ)：同梱スピーカーの使いかたや主な仕様、ご注意などを記載しています。
- ヘルプガイド：さらに詳しい操作説明を記載しています。パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。
- 重要なお知らせ：商標や法規について記載しています。

(1)

©2017 Sony Corporation Printed in China

4-694-579-01(1)

警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。本書と「取扱説明書」、「ヘルプガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

本書と「取扱説明書」、「ヘルプガイド」の注意事項をよくお読みください。本書は、安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

定期的に点検する

コネクタなどにはほりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、イヤーピースがヘッドホンにしっかり取り付いているかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

- パソコンと接続している場合は、USBケーブルまたはUSB端子を抜く。
- お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。

警告表示の意味

本書および本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

破裂

行為を禁止する記号

禁止

行為を指示する記号

指示

危険

下記の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

火災

破裂

火の中に入れない。

禁止

温度が非常に高いところで充電したり、放置しない。

禁止

- 火のそば
- 暖房器具の近く
- 炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)など

本製品の各端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。

禁止

本製品の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

火災

感電

充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本製品内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

運転中は使用しない。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。

路切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。

内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、本製品に接続しているものをはずし、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

雨、水がかかる場所、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない。

上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない。

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービスステーションにご依頼ください。

分解禁止

乳幼児の手の届かないところに置く。

イヤーピースなど小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。

本製品を布団などでおおった状態で使用しない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない。

感電の原因となることがあります。

注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えるおそれがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音がでて、耳をいためることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。ボリュームは徐々に上げましょう。

肌に合わないと感じたときは使用しない。

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。

使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を医療機器の近くで使用しない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。

本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品に強い衝撃を与えない。

本製品には強い衝撃や過度の力を与えないでください。モデルによっては、画面表示部にガラス素材を採用しています。欠けや割れが発生するとけがの原因になります。その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。

不安定な場所に置かない。

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。

イヤーピースがはずれかけた状態で使用しない。

イヤーピースが確実に固定されていない場合、使用中にはずれて耳の中に残る場合があります。ご使用前にイヤーピースが確実に取り付けられていることを確認してください。

本製品は、国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

使用上のご注意

無線の周波数について
本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

- 2.4 GHz機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 - 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4 FH2

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

Bluetooth接続の使用上のご注意

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- ウォークマンにはアンテナが搭載されています。アンテナ部分の方向を接続したBluetoothオーディオ機器に向けることで、Bluetooth接続の感度が良くなります。ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の間に障害物などがあった場合、接続有効範囲は変わります。
- 以下の場合、Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。このような場合、音が途切れたりファイルの送受信に失敗することがありますが故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
 - 金属製のかばんの中で使う場合
 - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
 - 無線LANが構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など
- Bluetoothオーディオ機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯(2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10 m以上離れたところで行う。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器をできるだけ近づける。
 - 無線LANを搭載した機器から10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声に比べて、受信側のBluetoothオーディオ機器での再生がわずかに遅れます。
- Bluetoothオーディオ機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではウォークマンおよびBluetoothオーディオ機器の電源を切ってください。病院内／電車内の優先席付近／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く
- ウォークマンは、Bluetooth技術を使用した接続時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した接続を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した接続時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ウォークマンはすべてのBluetoothオーディオ機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetoothオーディオ機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるようになるまで時間がかかることがあります。

ウォークマンの充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電源を接続していないノートパソコンとウォークマンを接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。ウォークマンを接続したまま長時間放置しないでください。

本製品の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
 - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
 - 変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。

ーダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)

- ーホコリの多いところ
- ーぐらついた台の上や傾いたところ
- ー振動の多いところ
- ー風呂場など、湿気の多いところ
- ー磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ーラジオやテレビの音に雑音が入るときは、ウォークマンの電源を切って、ウォークマンをラジオやテレビから離してください。
- ー本製品をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - ーウォークマンをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
- ーウォークマンにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れて、外から大きな力を加えない。

- ー水がかからないようご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - ー洗面所などでポケットに入れての使用
 - 濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入ると水濡れの原因となる場合があります。

- ー雨や雪、湿度の多い場所での使用
- ー汗をかく状況での使用
- 濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入ると水濡れの原因となる場合があります。
- ーヘッドホンをウォークマンから外すときは、ヘッドホンのプラグを持って外してください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。
- ーヘッドホンを付けたまま寝ないでください。寝ているあいだにヘッドホンのコードが首にからまり、窒息の原因となることがあります。
- ー本製品をご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- ーイヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、路切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- ストラップ(別売)を付けてご使用する場合は、ストラップが引っかかるなど危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 周囲に配慮する必要があるような混雑した場所ではご使用をお控えください。
- 耳に差し込むタイプのヘッドホンは、イヤーピース部分の密閉度が高いため、イヤーピースが耳に強く押しこまれたり、急に外れたりすると、鼓膜などを傷めるおそれがあります。使用後は、イヤーピース部分を上下に動かして、ゆっくり取り外してください。
- 本製品を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
- ウォークマンをUSB接続したまま、パソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。ウォークマンが正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンからウォークマンを取り外してから行ってください。
- 推奨アプリケーションを使用中(CD録音中、曲の取り込み中、本製品への転送処理中)にパソコンがスリープ／スタンバイ／休止状態へ移行すると、データが失われたり、推奨アプリケーションが正常に復帰しない場合がありますのでご注意ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にビリビリと痛みを感じることがありますが、これはウォークマンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。

静電気の発生にくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。

- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。

本製品の保管について

ウォークマンには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。長期間保管するときは、次の事項に注意してください。

- 充電電池の劣化は、満充電で保管すると激しくなり、保存温度が高いほど早く進みます。（たとえば、シガーソケットに接続したまま自動車内に放置するなど）できるだけ35℃以下のすずしい場所に保管してください。また、充電容量を50%前後にして保管することをおすすめします。
- 電池の劣化を抑えるために、ウォークマンを長期間使わない場合でも、半年ごとに充電するようにしてください。



ウォークマン表面の汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。イヤーピースの着脱方法については「取扱説明書」の「ヘッドホンのイヤーピースを交換する」をご覧ください。

ソフトウェアとデータについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本製品同梱のソフトウェアの内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。

- 同梱のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

- 同梱のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

- 同梱のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ウォークマンのメモリーを初期化すると、ウォークマンに転送した曲だけでなく、お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータやソフトウェアもすべて消去されます。メモリー初期化を行う前に内容を確認し、必要なデータはパソコンに保存してください。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽とそれに付随するデータが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

本製品を廃棄するときのご注意



Li-ion

本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。（「ソニーの相談窓口」の連絡先は「お問い合わせ窓口のご案内」に記載されています。）

主な仕様

ディスプレイ

サイズ／解像度：1.77型 (4.5 cm)、QQVGA（128×160ドット）

パネル種類：TFTカラー液晶

インターフェース

USB：Hi-speed USB（USB 2.0準拠）

ヘッドホン：ステレオミニ

WM-PORT：マルチ接続端子22ピン

FMラジオ

放送受信周波数：76.0 MHz ～ 108.0 MHz

アンテナ：ヘッドホンコードアンテナ

Bluetooth

通信方式：Bluetooth標準規格Ver 4.1+EDR

使用周波数帯域：2.4 GHz帯 (2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz)

変調方式：FHSS

対応Bluetoothプロファイル^{*1}

→ A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）

→ AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）

対応コーデック^{*2}：SBC^{*3}

^{*1} Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

^{*2} 音声圧縮変換方式のこと

^{*3} Subband Codecの略

ヘッドホン出力

周波数特性：20 Hz ～ 20,000 Hz

ノイズキャンセリング

デジタルノイズキャンセリング

環境選択：電車・バス／航空機／室内

電源

内蔵リチウムイオン充電式電池使用

USB電源（同梱のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

充電時間

パソコンのUSBコネクタから充電の場合

約4時間（満充電）、約2時間（約80％まで充電）

動作温度

5℃～35℃

外形寸法

最大突起部含まない寸法（幅／高さ／奥行き）：約43.5 mm × 94.5 mm × 9.1 mm

最大外形寸法（幅／高さ／奥行き）：約44.3 mm × 94.6 mm × 9.9 mm

質量

約53 g

容量^{*1}

NW-S313：4 GB

NW-S315：16 GB

NW-S313K：4 GB

NW-S315K：16 GB

^{*1} メモリー容量の一部はデータ管理に使用されるため、実際に使用できる容量はこれより少なくなります。

再生できるファイルの種類^{*1*2*3}

ミュージック			
オーディオフォーマット	MP3	拡張子：.mp3	
	WMA	拡張子：.wma	
	FLAC	拡張子：.flac	
	リニアPCM	拡張子：.wav	
	AAC	拡張子：.mp4、.m4a、.3gp	

^{*1} 著作権保護されたファイルは再生できません。

^{*2} 全てのエンコーダーに対応しているわけではありません。

^{*3} サンプリング周波数によっては規格外および保証外の数値も含まます。

記録できる最大曲数の目安について

本製品に曲のみを転送した場合で計算しています。（1曲4分換算）

最大記録曲数

	NW-S313	NW-S315	NW-S313K	NW-S315K
MP3 128 kbps	約830曲	約3,600曲	約830曲	約3,600曲
AAC 256 kbps	約410曲	約1,800曲	約410曲	約1,800曲
FLAC 44.1 kHz/16 bit	約75曲	約330曲	約75曲	約330曲

本製品は、録音した曲も含め最大8,000曲まで管理することができます。8,000曲を超えると一部の曲が参照できなくなります。

電池持続時間について

持続時間は初期設定状態で連続再生をしたときの目安です。

ミュージック		
	ノイズキャンセリングON	ノイズキャンセリングOFF
MP3 128 kbps	約40時間	約52時間
AAC 256 kbps	約41時間	約54時間

ウォークマンをスピーカーにセットし、ACアダプターを接続せずに再生したときの電池持続時間 (NW-S313K/S315Kのみ)

ミュージック

MP3 128 kbps：約23時間

電池持続時間についてのご注意

- 音量や使用状況、周囲の温度によっても持続時間は異なります。

- ［イコライザー］を有効にしている場合、画面表示させている場合、Bluetooth機能を有効にしている場合は、持続時間が大幅に短くなります。詳しくは「ヘルプガイド」をご確認ください。

本製品の動作環境

パソコン

→ Windows® 10

→ Windows® 8.1

→ Windows® 7

→ macOS™ v10.8 ～ 10.12

インターネット接続環境

本製品では、著作権保護された音楽ファイルを再生することはできません。

すべてのコンピュータに対して動作保証するものではありません。

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 商標権の帰属、法規などに関する情報は、ソフトウェアをインストールすると「重要なお知らせ」で確認できます。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、[®]マークは明記していません。
- 本製品はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「取扱説明書」の「困ったときは」をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ窓口のご案内

お問い合わせの前に

以下の方法で症状が解決されることがありますのでお試しください。

- ☐　ウォークマンをリスタート（再起動）する。
- ☐　ウォークマンを充電する。
- ☐　インターネットをお使いのお客様は、ウォークマンのサポートページをご覧ください。

メールでのお問い合わせも、ウォークマンのサポートページへ（http://www.sony.jp/support/walkman/）お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名：英数字（ウォークマン本体に記載）**

NW-

- 製造（シリアル）番号：7桁の数字（ウォークマン本体に記載）
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- 購入年月日
- お使いのパソコンの情報（パソコンメーカー名、パソコン型名、OSバージョン）
- その他接続にお使いの機器の情報（機器メーカー名、型名）

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページでご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル …………… 0120-333-020	フリーダイヤル …………… 0120-222-330
携帯電話・PHSの一部のIP電話 …………… 050-3754-9577	携帯電話・PHSの一部のIP電話 …………… 050-3754-9599

※取扱説明書、リモコン等の購入相談は
こちらお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「3 0 1」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1